

福島市「心のバリアフリー」広報紙

ここフリ

～第7号～

きょうせい まな むげんだい
- 共生、学びは無限大 - 福島市「心のバリアフリー」
推進キャッチフレーズ

< 令和6年1月発行 >

福島市共生社会推進課
〒960-8601

福島市五老内町3番1号

TEL 024(572)3948

FAX 024(535)7970

HP <https://www.city.fukushima.fukushima.jp>

【紹介】

福島市多文化共生センター ユイバース 「Yuiverse」



* 「Yuiverse」の由来 *

世界の方が手をつなぐ「結（ゆい）」
と英語の「universe（宇宙）」を
掛け合わせた造語。

外国人や外国にルーツを持つ方がいつでも立ち寄れて、
つながりをもちながら安心して生活できるよう、また、
市民の皆さんが多文化に親しめるよう、昨年9月30日に
オープンしました。

様々な文化に触れることができるイベントを開催しており、
国籍にかかわらず、どなたでも参加することができます◎
体験や交流を通じて、互いの文化的違いを認め合い、

『多文化共生社会』を実現しましょう♪

詳しいイベント情報は
福島市国際交流協会HP
よりご確認ください →



【利用案内】

場 所: MAXふくしま3階
(曾根田町1-18)

開館時間: 10:00～19:00

入 場 料: 無 料

※MAXふくしま休館日および
年末年始(12/29～1/3)は
お休みです。

02 福島信陵ライオンズクラブ



▲ 心のバリアフリー出前講座
受講のようす

①『令和5年度 福島市バリアフリー
推進パートナーミーティング』を
きっかけに、心のバリアフリー出前
講座を開催。

② 講座を受講された会員の中から
新たに「福島市バリアフリー推進
パートナー」の申込みがありました！

心のバリアフリーへの理解とともに、
パートナーの輪が広がった取り組みの紹介でした★

取組
紹介

詳しいご紹介は
市HPから ↓ ↓





『知る？知る！
心のバリアフリー』
コーナー Vol.5

しょうへき <「バリア（障壁）」はどこから？>

～『障がいの社会モデル』を理解しよう～

『障がいの社会モデル』

国際的にも法律で示されている考え方で、「障がい」を社会全体の問題としてとらえるもの。

⇒「障がい」は、多様な人がいることを考えずに、多数派に合わせて作り出された社会的なバリア（障壁）と個人の心身機能の障がいがいまって作りだされているものであり、そのバリア（障壁）を取り除くことは社会全体の責務であるという考え方。

まずは、私たちの意識や環境・ルールの不備などから、バリア（障壁）が作られていることを理解しましょう。私たち一人ひとりが社会の一員です。

自分自身の意識や身近なところにあるバリア（障壁）に目を向けていきましょう★



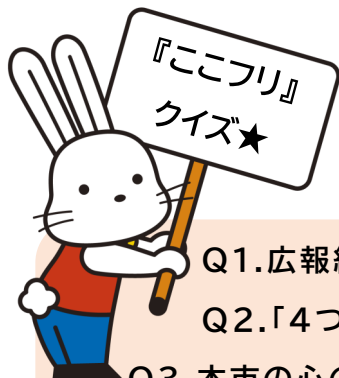
～ご案内～ 「心のバリアフリー」講演会を開催します！！

日 時 / 2月16日（金）14：00～15：30（13：30開場）
会 場 / とうほう・みんなの文化センター（福島県文化センター）小ホール

詳細・お申込みは
こちら↓

スポーツを通じた障がい者の社会参加促進に向けて、国内外で活躍されている2名の講師をお招きし、「合理的配慮」についていっしょに考えます。

対談形式の講演会です♪ 皆さまのご参加をお待ちしています！



バリアフリー推進パートナーの皆さまに支えられ
令和5年の発行開始から**1年**を迎えました！！
発行**1周年**を記念して、クイズ形式でふり返ります♪

祝
『ここフリ』
1周年

- Q1. 広報紙『ここフリ』のタイトルの由来は？
- Q2. 「4つのバリア」ってなあに？
- Q3. 本市の心のバリアフリー推進キャッチフレーズは？
- Q4. 本市独自の心のバリアフリー推進強化月間は何月？

【答え】
ここフリ
創刊号から
お読み取りください ▲



『誰にでもやさしいまち ふくしま』の実現に向けて
今後も様々なバリアフリー情報を発信してまいります！！

ここフリ「第8号」は
令和6年3月頃に
発行予定 です

